

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

平成24年の労働争議は、「総争議」の件数は596件、総参加人員は125,992人となっており、前年に比べ、件数は16件（2.6%）減、総参加人員は67,497人（115.4%）増となり、「総争議」の件数は、比較可能な昭和32年以降、最も少なかった。

このうち、「争議行為を伴う争議」の件数は79件、行為参加人員は12,361人となっており、前年に比べ、件数は22件（38.6%）増、行為参加人員は3,757人（43.7%）増となった。（第1表、第1図、P11附表）

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
平成19年	636	612,974	156	103,133	54,105	480	509,841
20	657	176,853	112	99,548	48,984	545	77,305
21	780	115,371	92	76,349	20,543	688	39,022
22	682	110,664	85	56,132	21,262	597	54,532
23	612	58,495	57	33,472	8,604	555	25,023
24	596	125,992	79	50,190	12,361	517	75,802
平成24年の 対前年増減率 (%)	△ 2.6	115.4	38.6	49.9	43.7	△ 6.8	202.9

第1図 労働争議の種類別件数の推移

